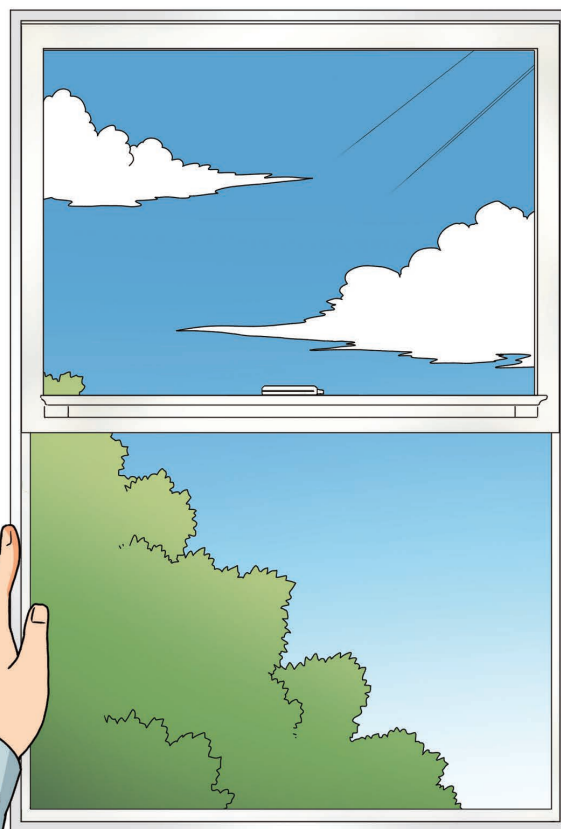
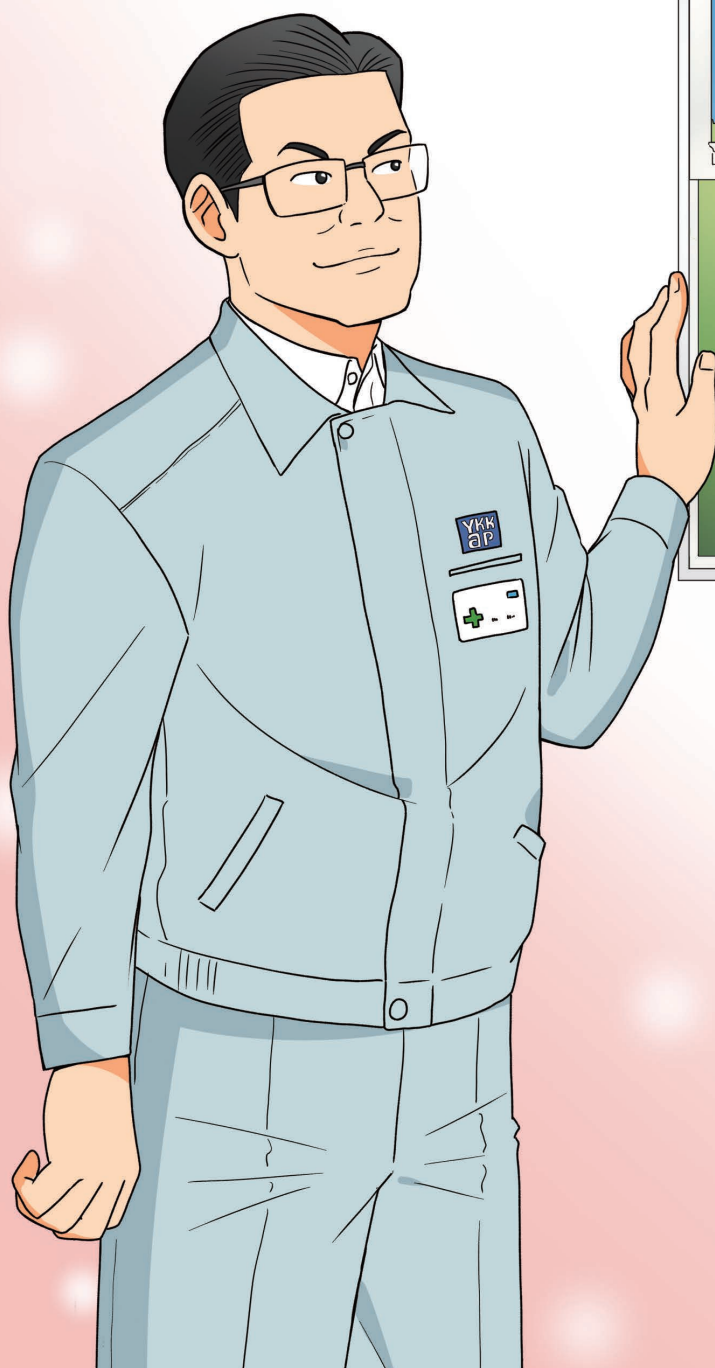


# 第9話 実現



消費者が窓を選択できる時代を目指してつくられた窓のカテゴリーブランド——

# APW®

高い断熱性に省エネ性能  
そしてデザイン性も兼ね備えた  
「APW」は

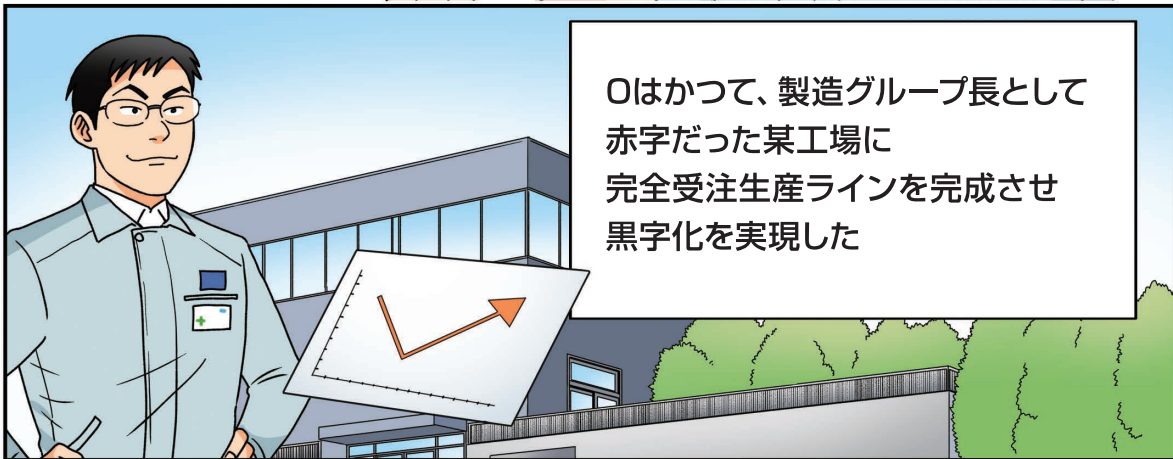
様々な  
バリエーションをもって  
人々の生活を支えている

今も進化を続ける「APW」

そんな高品質高性能の窓を製造する  
埼玉窓工場は、日本初の  
窓の一貫生産工場として  
2011年より稼働している

プロジェクトの責任者として  
埼玉窓工場の稼働に尽力したのが  
初代工場長のOである

O(47歳)



Oはかつて、製造グループ長として  
赤字だった某工場に  
完全受注生産ラインを完成させ  
黒字化を実現した

当時の社長はその実績をもとに  
Oを窓工場建設プロジェクトの  
メンバーに抜擢したのだ！

よろしく頼むよ

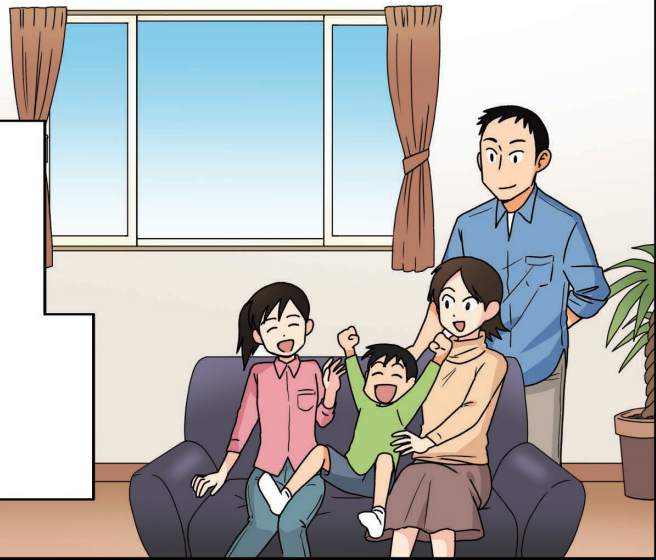
当時の社長

頑張ります！

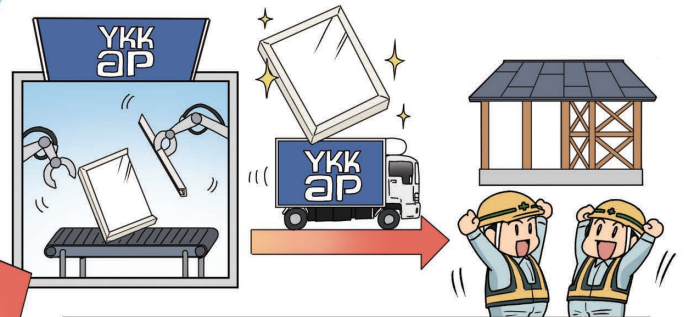
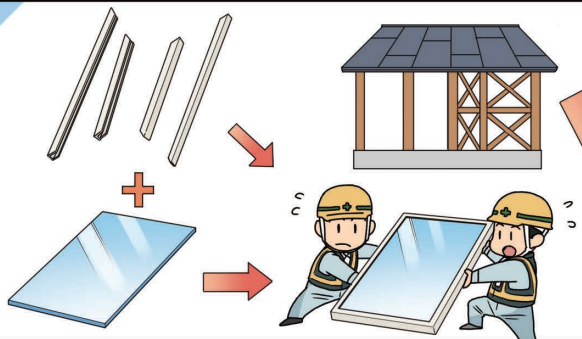


プロジェクトの目的は  
高性能の樹脂窓を供給し

エネルギー消費の削減や  
快適な住環境を  
実現させることである



それにはサッシとガラスを別々に供給して  
専門業者が組み立てて現場に届ける  
従来のやり方（サッシ事業）ではなく

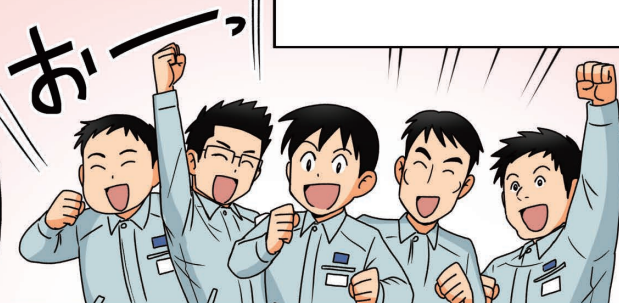
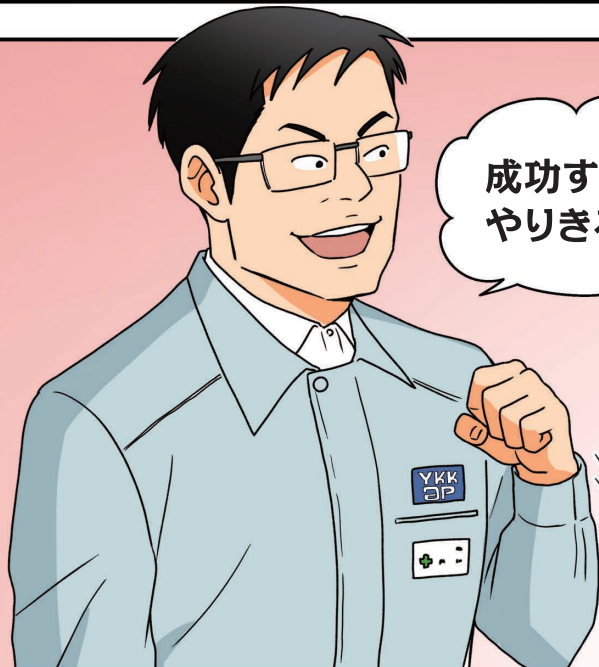


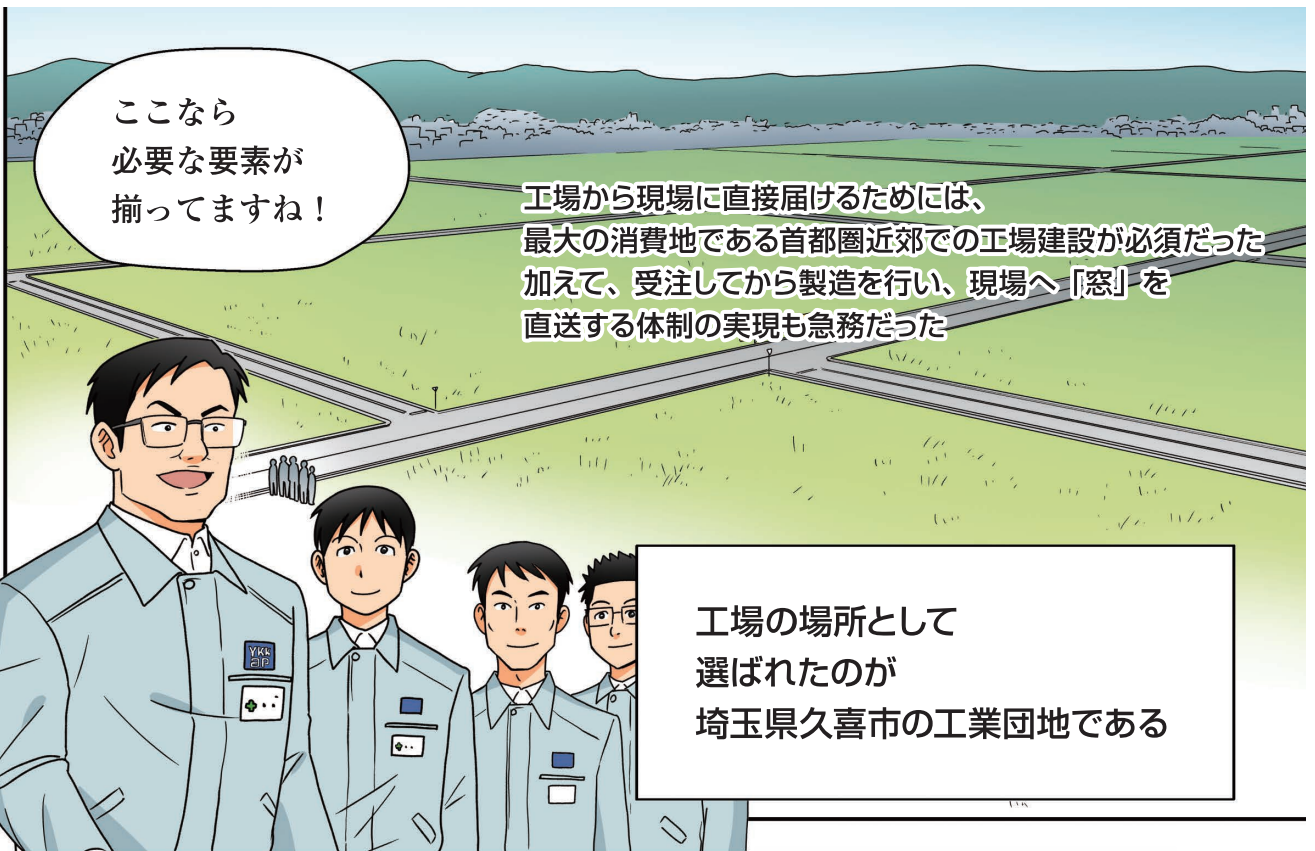
一連の工程を自社で行い  
「窓」の状態に現場に届ける  
窓事業の確立が不可欠だった

成功するまで  
やりきるぞ!

プロジェクトの  
立ち上げメンバーは6人

Oはリーダーとして  
メンバー達と奮闘した





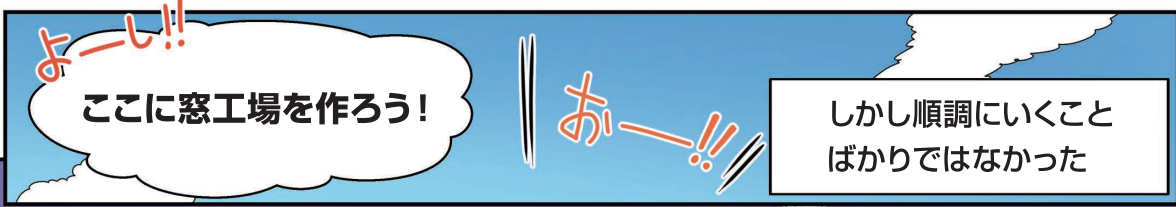
ここなら  
必要な要素が  
揃ってますね！

工場から現場に直接届けるためには、  
最大の消費地である首都圏近郊での工場建設が必須だった  
加えて、受注してから製造を行い、現場へ「窓」を  
直送する体制の実現も急務だった

工場の場所として  
選ばれたのが  
埼玉県久喜市の工業団地である



圏央道のインターも近いので  
よりスムーズに首都圏の現場に  
供給が行えますね

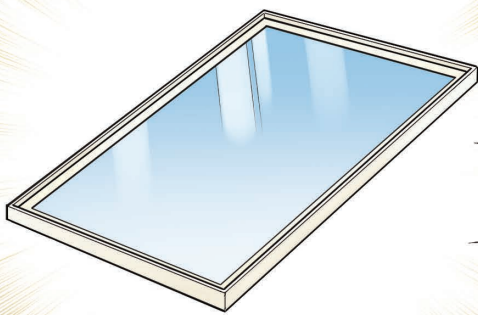


よーし!!  
ここに窓工場を作ろう!

あー!!  
しかし順調に行くこと  
ばかりではなかった

繰り返しになるが  
このプロジェクトは  
ただ工場を新設する  
というものではなく

長年YKK APが建材事業として築き  
成功を収めてきた「サッシ事業モデル」を進化させ

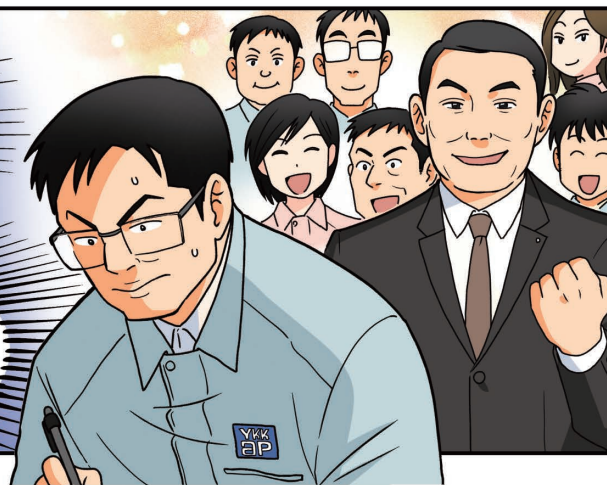


「窓事業モデル」という  
新たなビジネスモデルに挑戦する  
というものであった



新たなビジネスモデルの構築や  
事業計画の策定は困難を極め  
プロジェクトが挫折しそうな時もあった

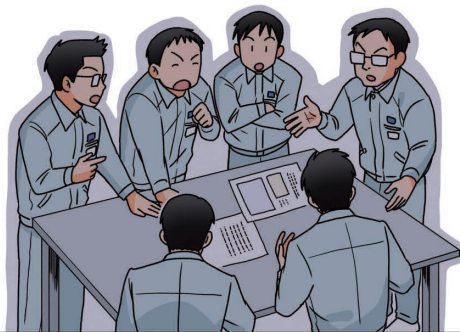
そんな時  
社内からの応援が励みとなり  
最後までやり切ることができたのだ



何より

Oたちがプロジェクト発足当時の  
熱い気持ちを忘れなかったのは

YKKグループのコアバリューである  
「失敗しても成功せよ/信じて任せる」が  
常に心にあったからである



そして――

プロジェクトの立ち上げから  
2年半後の2011年 工場が完成

建物の断熱化や自然の風・光の利用  
敷地緑化など環境負荷低減技術と  
自然環境の有効利用を実現した  
環境配慮型工場である

※工機技術本部とのタイアップにより開発された  
「窓専用ライン」により完全受注生産体制を実現



